



片柳中学校だより

片柳

さいたま市立片柳中学校
第2号 平成29年5月1日発行
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL 048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

言える先輩・言わせる後輩

校長 島村 暁

4月10日(月)、93名の新入生を迎え、第71回目の入学式を盛大に催すことができました。その入学式での出来事から生徒を頼もしく感じたことがありましたので紹介させていただきます。

入学式の次第のなかに「新入生呼名」というものがあります。これは、担任の先生が新入生一人ひとりの名前を呼ぶのですが、そのときの新入生の返事はとても素晴らしいものでした。会場にいらっしゃった方はお分りになると思いますが、全員が会場の誰もが聞こえる大きな声で「はい」という返事をしてくれました。その力強さから頼もしさを感じました。そのことは、私だけでなく、来賓の方をはじめ多くの方から「新入生、力があるね」「いい学年になりそうだね」「姿勢がいいね」といった声をいただきました。このようなこともあり、これからの1年生がどのような学年に成長していくのかという楽しみも感じました。

その3日後のことです。地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。緊急放送の後、担任の先生の指示で全生徒が校庭に避難してきました。すると一番早くに避難してきた3年生の学級委員が「名前の順に並んで！」と指示をだしています。その指示に応えるように整然と整列、点呼、報告があったという間に完了しました。もちろん、私語などはありません。その後を追うように避難してきた2年生、3年生の見事な姿を見ていたからでしょうか、同様に学級委員から名前の順に並ぶよう指示がで、素早く避難が完了しました。続いて1年生も同じように名前の順に並び、全生徒の避難が完了したとの報告を受けました。どの学年も私語もなく、整列、点呼がスムーズに進み、最初の放送が流れてから2分台前半で避難完了という結果で、思わず「合格！」と言ってしまいました。

指導講評の時、「なぜ、名前の順に並ぶように学級委員が指示したのか」3年生の生徒にと尋ねました。すると、「誰がいるのか、いないのがすぐにわかるから」という答えが返ってきました。学級委員の指示を、その意図や意味を理解して行動できたことも成長の証なのかなと思いました。そして、集団で集まった時に何をしなければならないかということを理解しているだけでなく実践できる集団に成長してくれた3年生を見て、“しっかり最上級生になってきたな”と頼もしく感じました。

放課後、職員室で3年生の先生に「さすがに3年生、やるときはやりますね」と話すと、「3年生は、本気で先輩、最上級生にならなければという緊張感があったからかもしれません」との言葉が返ってきました。さらに「何人もの生活ノート(1日の予定やその日の感想を記入するノート)に、『入学式の1年生の返事はすごかった、立派だった』と書いているので、進級しただけの最上級生じゃいけないという意識がでたからだだと思います」と話されました。翌日、3年生の先生から聞いた話を2年生の先生に話すと、「2年生でも同じことを書いている生徒がいました」と話されました。私は、先輩に「すごい、立派」と言わせる1年生は、素晴らしいと思います。その1年生の素晴らしさももちろんですが、後輩のよいところを認めて「すごい、立派」と言える先輩も立派であると思います。そういえば、新入生オリエンテーションの最後に1年生の学年主任の先生から2・3年生に向けて「この先輩なら安心して1年生を任せられます」という言葉がありました。先輩たちは、その言葉に応えてくれたと思います。以前、「よいクラスが集まれば、よい学年ができる。よい学年が3つ集まればよい学校ができる」という言葉を聞いたことがあります。この日の出来事からも、安心して全校でいろいろなことにChallengeすることができそうです。さらなる高みを目指して、各学年、各クラスがよい集団になってくれることを期待します。